



NO.1080

2016.8.7

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三、四四五八
F 四三、四四五七

ゴミ問題を考える

6月議会で提案された「網走市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する案」について、市民から大きな関心と反響が寄せられています。幾つかの角度からシリーズで考えてみます。

昭和26年6月、それまで続けられてきたごみ収集の民間委託を廃止、市直営でごみ収集車2台、作業員6名で開始、ごみ箱設置の申請に対する収集で、収集手数料は従量制により徴収していました。

昭和38年4月、モデル地区でポリバケツ方式で定日収集を実施、昭和39年4月、じん芥処理券規程の制定、昭和39年5月、特別清掃区域内世帯の定日収集を収集車3台と作業員16名で開始、ポリバケツ方式を導入し、収集手数料は20円につき5円、商店街は週3回、住宅地は週1回でした。石炭灰の集積所を廃止し、石油缶、半切ドラム缶方式を導入しました。

昭和40年4月、網走市清掃条例を制定、収集手数料をごみ処理券貼付けによる納付制導入し収集手数料は20円当たり5円でした。

昭和47年3月網走市清掃条例の廃止、同年4月網走市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の制定。ごみは一般ごみと産業廃棄物とに区分される

事になりました。

昭和51年12月八坂埋立処分場の整備完了（事業費1億8600万円）し、昭和52年6月、八坂埋立処分場の供用が開始されました。

これが現在の八坂埋立て処分場ができるまでの経緯ですが、基本的には、あらゆるものが埋立てられていたことが分かります。

ゴミ埋立地の移り変わり

地域	時期
○駅周辺の窪地	昭和26年～
○南13条西3丁目湿地	昭和28年5月～
○駒場地	昭和30年4月～
○潮見地	昭和41年9月～

網走市宅配トーク

「ごみ分別の変更、料金の変更について」

日時 8月9日 10時から11時50分
場所 駒場北住民センター 和室
主催 日本共産党中央地域後援会

どなたでも参加できます。市の職員からの説明を受け、疑問や市民の考えを聞いてもらいましょう。



ジャガ芋の花

松浦奮戦モ!

今月は、日本の歴史の中で大きな出来事があった月です。6日広島、9日長崎に原爆が投下され15日は戦争が終わった日、あれから71年になります。

述べています。それとは反対に、NPT体制の下で核兵器保有の特権を持つ5カ国、米国、ロシア、英国、フランス、中国(P5)は、「共同歩調を強め、この流れに敵対する姿勢を強めています。P5は、当面はおろか将来も核兵器廃絶に反対しています。被爆国の日本政府は、会議でP5の代弁者として発言し核廃絶を妨害し、恥ずべき役割を演じています」と批判しています。これが安倍政権の実態です。

気持ちがいい朝

夏休みに合わせて市内32の町内会で、ラジオ体操が行われています。会場の一つ錦町町内会には、毎日30人近くが参加しています。会場には小学校前の子供もお母さんと参加し、見よう見まねで体操する姿に、ほかのみなさんも楽しそうに見守っています。



子どもに負けずにラジオ体操する市民

流水

紙智子「国会かけある記」
共闘の力の新たな幕開け

参議院選挙での当選者を迎えて、新しい国会が始まりました。日本共産党は、市田忠義、大門実紀史、田村智子参議院議員に、新たに岩淵友さん、武田良介さん、山添拓さんの三人が加わりました。初登院を衆参の国会議員でむかえました。再会を喜ぶ顔、新たな意欲と決意に満ちあふれた顔。初登院ならではの風景です。共産党の控室前を、激戦を勝ち抜いた野党統一候補が通ると、誰ともなく拍手がわき起こり歓喜の輪に包まれました。野党と市民の共闘の力の新たな幕開けです。

日本共産党参議院議員団は、非改選の議員を含め十一名から十四名に増えたことで、発言力が増します。三年前は八人当選し、六人から十一人に増えたことで、すべての常任委員会に委員を配置できるようになりましたが、それに加え、財政金融委員会、経済産業委員会、環境委員会には、二人ずつ委員を配置できるようになりました。

また、予算委員会や憲法審査会にも今までの二人から三人の委員を配置できるようになりました。控室の大きさも、さらに大きくなります。参議院議員団は新たな三人の個性や、多彩な活動を加え、より豊かで力強いものになるのではないかと、期待が高まっています。

安倍政権は、いよいよ憲法審査会を動かそうとしています。TPP特別委員会も、継続となっていました。再開されること予想されます。恐れることなく、国民・市民運動との共同を発展させ、立ち向かっていく決意です。

参議院議員 紙智子